

「バリア」の逆は「ありば」。
バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、
「ありば」というタイトルにしました。
みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。
人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、
それが「ありば」です。

ありば

VOL. 50
2025



表紙 / 陽花 小野京子さんの作品

第71回県美展で、ハートフルの部・知事賞を受賞した小野京子さんの「陽花」。夏になると毎年ベランダでたくさんの花を咲かせるクレマチス。母の日に家族から贈られた大切な花を描きました。全体に配置された花は、花びらの細部まで丹念に色を塗り重ね、透けるような質感やみずみずしさが伝わってきます。鋏物や石を砕いた粉から絵の具を作るところから始まる、習い始めて7年目になるという日本画の技法を使っています。緻密に色を重ねていくことで少しずつ色が変化していく工程が楽しいと話す小野さん。この絵のタイトル「陽花」は、お孫さんの名前からとってきているそうで、次の目標は、三人のお孫さんの人物画を描くことだと話してくださいました。



CONTENTS

【特集】

東京2025デフリンピック
鹿児島での活動&選手を紹介 PAGE 1

ハードルを越えて
日高 有彩さん PAGE 5

ありばヒューマンドキュメント
上玉利 明子さん PAGE 3

バリアフリー最前線
JR帖佐駅・仙巖園駅

ヘルプマークの日普及啓発について PAGE 6

ありば通心
NPO法人くすのき自然館
「ユニバーサルビーチ」の取り組み PAGE 4

鹿児島県からのお知らせ
・農福連携
・アルコール関連問題啓発週間 PAGE 7

